NEXYZ.Group

2026年９月期　決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月16日

上 場 会 社 名　株式会社ＮＥＸＹＺ．Ｇｒｏｕｐ　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　4346　URL　https://www.nexyzgroup.jp/
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長　(氏名)　近藤　太香巳
問合せ先責任者　(役職名)　専務取締役　管理本部長　(氏名)　松井　康弘　TEL　03-5459-7444
定時株主総会開催予定日　2026年12月21日　配当支払開始予定日　2026年12月22日
有価証券報告書提出予定日　2026年12月18日
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：無　(動画配信のみ。)

(百万円未満切捨て)

１．2026年９月期の連結業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	31,935	12.3	2,203	21.1	1,548	△11.2	934	1.3
2025年９月期	28,433	16.1	1,820	53.1	1,742	50.7	922	50.8

(注) 包括利益　2026年９月期　△466百万円(　－%)　2025年９月期　3,548百万円(　72.7%)

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年９月期	71.87	－	23.5	6.4	6.9
2025年９月期	70.94	－	26.8	8.2	6.4

(参考) 持分法投資損益　2026年９月期　△528百万円　2025年９月期　－百万円

(注) 潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在していないため、記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	24,258	7,875	14.9	278.64
2025年９月期	24,387	8,028	17.8	332.81

(参考) 自己資本　2026年９月期　3,624百万円　2025年９月期　4,329百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	1,626	2,009	△878	11,203
2025年９月期	1,740	282	373	8,447

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年９月期	－	0.00	－	30.00	30.00	390	42.3	11.3
2026年９月期	－	0.00	－	30.00	30.00	390	41.7	9.8
2027年９月期(予想)	－	15.00	－	15.00	30.00		39.0	

３．2027年９月期の連結業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	34,500	8.0	2,500	13.4	2,250	45.3	1,000	7.0	76.88

(注) 第２四半期(累計)の業績予想は行っておりません。詳細は添付資料４ページ「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。なお、１株当たり当期純利益の予想数値につきましては、2026年９月期の期末発行済株式数(自己株式控除後)を使用して算出しております。

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　－社（社名）－　　、除外　　－社（社名）－

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	13,471,240株	2025年９月期	13,471,240株
②　期末自己株式数	2026年９月期	463,407株	2025年９月期	463,057株
③　期中平均株式数	2026年９月期	13,007,897株	2025年９月期	13,008,576株

（参考）　個別業績の概要

１．2026年９月期の個別業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）個別経営成績　　（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	13,669	13.3	△334	―	114	△78.1	△179	―
2025年９月期	12,062	15.9	△157	―	522	―	92	38.9

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円　銭	円　銭
2026年９月期	△13.81	―
2025年９月期	7.12	―

（注）潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
2026年９月期	14,766	2,205	14.9	169.58
2025年９月期	13,969	2,769	19.8	212.87

（参考）自己資本　　2026年９月期　　2,205百万円　　2025年９月期　　2,769百万円

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 3
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）今後の見通し …… 4
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 4
３．連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）連結貸借対照表 …… 5
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 7
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 9
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 ……11
（５）連結財務諸表に関する注記事項 ……12
（継続企業の前提に関する注記）……12
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）……12
（セグメント情報等の注記）……12
（１株当たり情報）……15
（重要な後発事象）……15

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、堅調な企業業績を背景に、雇用・所得環境の緩やかな回復傾向が続きました。一方で、米国の通商政策等の影響により、世界的に経済・物価の動向の不確実性が高まりました。GDP伸び率は、2026年４月～６月に前年同月比0.4%増となりました。消費者物価指数(生鮮食品除く)は、前年同月比2.3%～3.7%の間で推移しました。

このような状況の下、当社グループでは、「ネクシーズZERO」、「アクセルジャパン」の拡大に注力してまいりました。当連結会計年度においては、企業の堅調な設備投資意欲のもと、当社の強みである全国規模で展開できる提案型の営業力を活用し、顧客のニーズを汲み取りサービスを展開したことから業績も好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高31,935百万円(前年同期比12.3%増)、営業利益2,203百万円(前年同期比21.1%増)、経常利益1,548百万円(前年同期比11.2%減)となり、親会社株主に帰属する当期純利益934百万円(前年同期比1.3%増)となりました。

当連結会計年度における報告セグメントの概況は次のとおりであります。

［エンベデッド・ファイナンス事業］

エンベデッド・ファイナンス事業では、設置工事費用を含めた初期投資オールゼロで最新の省エネルギー設備等を導入できる「ネクシーズZERO」の提供、利用者獲得業務及び省エネルギー設備等の販売を行っております。

当連結会計年度においては、金融機関と連携して紹介案件を中心に効率的な営業活動を行ってまいりました。加えて、拠点の増設により営業網を拡大したことで、受注を着実に積み増すことができ、好調に推移いたしました。キュービクル式高圧受電設備など工期が比較的長く、次期以降の売上となる規模の大きい案件も積極的に受注してまいりました。

これらの結果、エンベデッド・ファイナンス事業は、売上高26,468百万円(前年同期比13.9%増)、セグメント利益1,749百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

［メディア・プロモーション事業］

メディア・プロモーション事業では、企業プロモーション支援を目的として、インターネットを主とした各種サービスを提供しております。

当連結会計年度においては、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」が地域金融機関との連携を拡大し、業績拡大を牽引してまいりました。また、メディア事業においては、電子雑誌「旅色」における宿泊施設や飲食店からの広告売上が増加したほか、地方自治体とのタイアップ広告売上が大幅に回復し、新たに、旅色宿泊予約機能のテストマーケティングや現地決済型ふるさと納税サービスである「ふるさとらべる」を開始いたしました。ECサポートサービス等を行うソリューション業務においては、ECサポート売上が堅調に推移いたしました。

これらの結果、メディア・プロモーション事業は、売上高5,378百万円(前年同期比3.9%増)、セグメント利益1,425百万円(前年同期比24.3%増)となりました。

［その他事業］

その他事業では、主に新たに法人向けグループウェアサービスの提供等を行っております。

当連結会計年度においては、同サービスの新規顧客の契約が増加いたしました。

これらの結果、その他事業は、売上高142百万円(前年同期比352.8%増)、セグメント損失13百万円(前年同期セグメント利益28百万円)となりました。

（２）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は24,258百万円となり、前連結会計年度末に比べて129百万円の減少となりました。

① 資産の状況

（流動資産）

流動資産は19,896百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,981百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が2,755百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が1,030百万円増加したことによるものであります。

（固定資産）

固定資産は4,362百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,110百万円の減少となりました。これは主に、破産更生債権等が106百万円増加した一方で、投資有価証券が4,090百万円減少したことによるものであります。

② 負債の状況

（流動負債）

流動負債は13,067百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,004百万円の増加となりました。これは主に、未払法人税等が664百万円、契約負債が745百万円、解約調整引当金が559百万円増加したことによるものであります。

（固定負債）

固定負債は3,315百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,981百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金（１年内返済予定を除く）が968百万円、繰延税金負債が959百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産の状況

当連結会計年度末の純資産合計は7,875百万円となり、前連結会計年度末に比べて152百万円の減少となりました。主な内訳は、その他有価証券評価差額金が1,424百万円減少した一方で、資本剰余金が175百万円、利益剰余金が544百万円、非支配株主持分が552百万円増加したことによるものであります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」)の期末残高は11,203百万円となり、前連結会計年度末残高8,447百万円と比べて2,756百万円の増加となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,626百万円(前年同期は1,740百万円の収入)となりました。これは主に、投資有価証券売却益2,519百万円、売上債権の増加額1,021百万円があった一方で、税金等調整前当期純利益3,978百万円、解約調整引当金の増加額559百万円、持分法による投資損失528百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は2,009百万円(前年同期は282百万円の収入)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出182百万円、有形固定資産の取得による支出107百万円、敷金及び保証金の差入による支出87百万円、非連結子会社株式の取得による支出57百万円があった一方で、投資有価証券の売却及び償還による収入2,524百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は878百万円(前年同期は373百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,000百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出1,956百万円があったことによるものであります。

（４）今後の見通し

次期の見通しにつきましては、以下のとおりです。

［エンベデッド・ファイナンス事業］

エンベデッド・ファイナンス事業では、業務用の多様な設備を取り扱っております。同事業では工業、商業、農業の各種顧客のニーズに応じて取り扱い商品の更なる充実を図ってまいります。また、従来のLED照明、空調、冷蔵庫の導入に加えて、工期の長いキュービクル式高圧受電設備の受注強化や、公共工事の入札に積極的に参加してまいります。

昨今の金利上昇に伴い、債権流動化（注）に係る費用負担が増大しております。こうした状況を踏まえ、今後は、債権の証券化を併用するとともに、自己資金で運用する案件の割合を増やしてまいります。これにより、資金調達コストの抑制を図るとともに、中長期での更なる収益性の向上に取り組んでまいります。

（注）債権流動化とは、企業が保有している売掛金等の金銭債権を、入金期日を迎える前に金融機関等へ売却して、前倒しで現金化する手法のこと。

［メディア・プロモーション事業］

プロモーション支援業務につきましては、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」において、地域金融機関パートナーとの連携拡大を進めることで、紹介案件数を拡大させ、引き続き新規契約、更新契約を増やし、売上高増を目指してまいります。

電子雑誌業務につきましては、主力電子雑誌「旅色」において搭載した、宿泊予約機能の本格稼働による送客手数料の獲得、現地決済型ふるさと納税サービスである「ふるさtoらべる」の参画施設及び対象自治体の拡大を通じ、更なる業績拡大を目指してまいります。

ソリューション業務については、主力サービスである「ECサポートサービス」等の国内外での事業領域の拡大を図ってまいります。

［その他事業］

その他事業では、新たに法人向けグループウェアサービスの提供等を行っております。同事業では新規顧客の契約の増加と収益化に注力してまいります。

2027年９月期 通期連結業績見通し（2026年10月１日～2027年９月30日）

売上高　34,500百万円

営業利益　2,500百万円

経常利益　2,250百万円

親会社株主に帰属する当期純利益　1,000百万円

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,447	11,202
受取手形、売掛金及び契約資産	2,890	3,920
リース債権	3,436	3,549
商品	486	847
未収入金	556	471
前払費用	336	415
その他	771	558
貸倒引当金	△1,010	△1,070
流動資産合計	15,914	19,896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,320	1,340
減価償却累計額	△402	△437
建物及び構築物（純額）	917	902
工具、器具及び備品	954	987
減価償却累計額	△850	△878
工具、器具及び備品（純額）	103	108
土地	53	53
その他	92	96
減価償却累計額	△87	△73
その他（純額）	4	22
有形固定資産合計	1,080	1,087
無形固定資産		
のれん	0	0
ソフトウエア	121	122
無形固定資産合計	121	122
投資その他の資産		
投資有価証券	5,832	1,742
敷金及び保証金	617	642
破産更生債権等	323	430
繰延税金資産	164	129
その他	625	645
貸倒引当金	△291	△437
投資その他の資産合計	7,272	3,152
固定資産合計	8,473	4,362
資産合計	24,387	24,258

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,446	2,736
短期借入金	1,100	1,100
１年内返済予定の長期借入金	1,812	1,824
未払金	665	650
未払法人税等	476	1,140
契約負債	120	865
リース債務	135	34
解約調整引当金	2,977	3,537
賞与引当金	415	425
その他	913	751
流動負債合計	11,062	13,067
固定負債		
長期借入金	3,907	2,939
繰延税金負債	1,114	155
その他	274	220
固定負債合計	5,297	3,315
負債合計	16,359	16,382
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	1,001	1,176
利益剰余金	2,170	2,714
自己株式	△900	△900
株主資本合計	2,371	3,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,955	530
為替換算調整勘定	2	2
その他の包括利益累計額合計	1,958	533
非支配株主持分	3,699	4,251
純資産合計	8,028	7,875
負債純資産合計	24,387	24,258

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

（連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
売上高	28,433	31,935
売上原価	14,613	16,809
売上総利益	13,819	15,126
販売費及び一般管理費	11,998	12,922
営業利益	1,820	2,203
営業外収益		
受取利息	7	21
受取給付金	5	－
受取手数料	4	6
その他	12	24
営業外収益合計	31	52
営業外費用		
支払利息	59	82
持分法による投資損失	－	528
投資事業組合運用損	5	11
支払手数料	28	0
寄付金	9	46
その他	6	40
営業外費用合計	109	708
経常利益	1,742	1,548
特別利益		
投資有価証券売却益	－	2,519
関係会社株式売却益	476	－
特別利益合計	476	2,519
特別損失		
減損損失	25	－
抱合せ株式消滅差損	6	－
投資有価証券評価損	52	89
特別損失合計	84	89
税金等調整前当期純利益	2,134	3,978
法人税、住民税及び事業税	663	1,437
法人税等調整額	172	236
法人税等合計	835	1,673
当期純利益	1,299	2,304
非支配株主に帰属する当期純利益	376	1,370
親会社株主に帰属する当期純利益	922	934

（連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
当期純利益	1,299	2,304
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,248	△2,771
為替換算調整勘定	1	0
その他の包括利益合計	2,249	△2,771
包括利益	3,548	△466
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	2,089	△489
非支配株主に係る包括利益	1,459	23

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	1,051	1,507	△899	1,759
当期変動額					
剰余金の配当			△260		△260
親会社株主に帰属する当期純利益			922		922
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△0		0	0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△50			△50
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	△50	662	△0	611
当期末残高	100	1,001	2,170	△900	2,371

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	788	2	791	2,667	5,218
当期変動額					
剰余金の配当					△260
親会社株主に帰属する当期純利益					922
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					△50
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,166	0	1,166	1,031	2,198
当期変動額合計	1,166	0	1,166	1,031	2,810
当期末残高	1,955	2	1,958	3,699	8,028

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	1,001	2,170	△900	2,371
当期変動額					
剰余金の配当			△390		△390
親会社株主に帰属する当期純利益			934		934
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△0		0	0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		175			175
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	175	544	△0	719
当期末残高	100	1,176	2,714	△900	3,091

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,955	2	1,958	3,699	8,028
当期変動額					
剰余金の配当					△390
親会社株主に帰属する当期純利益					934
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					175
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1,424	0	△1,424	552	△872
当期変動額合計	△1,424	0	△1,424	552	△152
当期末残高	530	2	533	4,251	7,875

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,134	3,978
減価償却費及びその他の償却費	124	153
解約調整引当金の増減額（△は減少）	669	559
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△788	205
賞与引当金の増減額（△は減少）	△85	9
受取利息及び受取配当金	△10	△24
支払利息	59	82
投資有価証券売却損益（△は益）	―	△2,519
投資有価証券評価損益（△は益）	52	89
関係会社株式売却損益（△は益）	△476	―
持分法による投資損益（△は益）	―	528
売上債権の増減額（△は増加）	△9	△1,021
リース債権の増減額（△は増加）	△181	△113
棚卸資産の増減額（△は増加）	△10	△356
立替金の増減額（△は増加）	△164	119
破産更生債権等の増減額（△は増加）	521	△106
仕入債務の増減額（△は減少）	322	293
契約負債の増減額（△は減少）	50	513
預り金の増減額（△は減少）	28	56
その他	51	44
小計	2,288	2,491
利息及び配当金の受取額	10	23
利息の支払額	△59	△82
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△499	△806
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,740	1,626
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△22	△182
有形固定資産の取得による支出	△69	△107
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	2,524
無形固定資産の取得による支出	△54	△56
非連結子会社株式の取得による支出	△127	△57
敷金及び保証金の差入による支出	△22	△87
非連結子会社株式の売却による収入	520	―
その他	58	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	282	2,009
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,000	―
長期借入れによる収入	3,950	1,000
長期借入金の返済による支出	△1,804	△1,956
配当金の支払額	△260	△389
非支配株主からの払込みによる収入	―	856
非支配株主への配当金の支払額	―	△283
リース債務の返済による支出	△31	△100
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△479	△5
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	373	△878
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,397	2,756
現金及び現金同等物の期首残高	5,849	8,447
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	200	―
現金及び現金同等物の期末残高	8,447	11,203

（５）連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

１　報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、セグメント商品・サービスの内容の類似性等を考慮して報告セグメントを区分しており、「エンベデッド・ファイナンス事業」「メディア・プロモーション事業」の２つを報告セグメントとしております。

なお、各報告セグメントの事業内容は以下のとおりであります。

報告セグメント	属するサービスの内容	主要な事業会社
エンベデッド・ファイナンス事業	初期投資ゼロの省エネルギー設備等導入サービス「ネクシーズZERO」の提供、利用者獲得業務及び省エネルギー設備等の販売	㈱NEXYZ.Group ㈱NEXYZ. ㈱NEXYZ.ファシリティーズ
メディア・プロモーション事業	電子雑誌の広告掲載及び制作受託 製品・サービスの販売促進、ノウハウや技術の提供、 コンサルティング業務 ウェブメディア運営 タレントを起用した企業PR支援	㈱ブランジスタ ㈱ブランジスタエール ㈱ブランジスタメディア ㈱ブランジスタソリューション 博設技股份有限公司 ㈱CrowdLab

２　報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

事業セグメントの利益は営業利益をベースとした数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

３　報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額(注)１、２	連結財務諸表計上額(注)３
	エンベデッド・ファイナンス事業	メディア・プロモーション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,233	5,167	28,401	31	28,433	－	28,433
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	10	25	－	25	△25	－
計	23,248	5,178	28,427	31	28,458	△25	28,433
セグメント利益	1,663	1,146	2,810	28	2,838	△1,018	1,820
セグメント資産	9,759	8,800	18,559	29	18,589	5,798	24,387
その他の項目							
減価償却費	48	39	88	－	88	36	124
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	47	60	108	－	108	12	120

(注) １．セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,018百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。
なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。

２．セグメント資産の調整額5,798百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産になります。全社資産は、主に親会社での余資運用資金(現金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額(注)１、２	連結財務諸表計上額(注)３
	エンベデッド・ファイナンス事業	メディア・プロモーション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	26,451	5,349	31,801	134	31,935	－	31,935
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	28	45	7	53	△53	－
計	26,468	5,378	31,846	142	31,989	△53	31,935
セグメント利益又は損失（△）	1,749	1,425	3,174	△13	3,161	△957	2,203
セグメント資産	10,798	9,057	19,856	414	20,270	3,987	24,258
その他の項目							
減価償却費	63	51	115	－	115	38	153
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	43	63	107	－	107	51	158

(注) １．セグメント利益又は損失（△）の調整額△957百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。
なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。
２．セグメント資産の調整額3,987百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産になります。全社資産は、主に親会社での余資運用資金(現金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
３．セグメント利益又は損失（△）は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（１株当たり情報）

前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）		当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）	
１株当たり純資産額	332.81円	１株当たり純資産額	278.64円
１株当たり当期純利益金額	70.94円	１株当たり当期純利益金額	71.87円
潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額	－円	潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額	－円

（注）１株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	922	934
普通株主に帰属しない金額(百万円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	922	934
普通株式の期中平均株式数(株)	13,008,576	13,007,897
潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	－	－
普通株式増加数(株)	－	－
（うち新株予約権(株)）	(－)	(－)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	(連結子会社) 株式会社NEXYZ.東日本新株予約権２種類(普通株式　2,531株)	(連結子会社) 株式会社NEXYZ.東日本新株予約権２種類(普通株式　2,531株)

（注）潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。